

札幌コンベンションセンターがオープン



コンベンションセンターは地上3階地下1階建て。外観(上)と特別会議場(左)



札幌コンベンションセンターが、いよいよ六月一日(日)に正式オープンします。さまざまな形での利用が考えられるこの施設の概要を紹介します。

コンベンションとは、さまざまな地域から人・物・情報の交流をもたらす国際会議やイベントなどの催しのこと。

札幌コンベンションセンターは、本市におけるコンベンション開催の中核施設として、平成十三年から建設が進められてきました。

市では、観光や大規模な会議・イベントなどを経済の活性化に結び付けようと、集客交流産業の振興に力を入れており、この施設は、その促進に大きく寄与することが期待されます。

札幌コンベンションセンターの特長は、会議とそれに付随する展示会や会合などを一

カ所で開催できること。二千五百人収容の大ホールのほか、中小二つのホールも備えており、規模に応じた使い分けが可能です。さらに、六カ国語の同時通訳に対応する特別会議場や、大小十五の会議室などがあり、大型会議の総会から分科会まで、一連の催しを総合的に開催することができま

す。

このように、国際的な会議はもちろ

ろん、市民の皆さんや企業の会議にも幅広く利用できるなど、それぞれの用途に合わせたさまざまな活用法が考えられる札幌コンベンションセンター。こ

ちら落としては、五月三十一日(土)に行われる「外国人による日本語弁論大会」です。この大会の入

施設の概要

名称	用途など	面積	収容人数
大ホール	会議と展示の両方に利用でき、3分割も可能	2,607㎡	いすのみで2,500人 机利用で1,200人
特別会議場	シンポジウム、講演会、展示会など	692㎡	いすのみで700人 机利用で400人
中ホール	レセプション、展示、会議などに利用でき、2分割も可能	564㎡	いすのみで600人 机利用で400人
小ホール	会議、講演会など	240㎡	191人(固定席)
会議室 (中規模5室、 小規模10室)	一部は、分割や2室一体の利用が可能	<中規模> 160~280㎡ <小規模> 20~86㎡	<中規模> 100~320人 <小規模> 12~80人

*料金や申し込み方法など詳しくはお問い合わせください

場申し込み方法や、そのほかの催しについての詳細は、17ページをご覧ください。



“ゆとりの空間”を演出したエントランスホール